

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	子ども医療費助成					所管	区民部 子育て・若者支援課	
	行政計画	事業NO.	196	計画事業名	子ども医療費助成	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 平成 5 年度	
		[小 柱] (1)安心して子育てできる環境づくり					[終了予定] - 年度	
		[施 策] ②子どもの健やかな育ちの支援						
根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区子どもの医療費の助成に関する条例					
事業対象	健康保険に加入する中学3年生までの子供							
事業目的	子供にかかる医療費の一部を助成することにより、子供の保健の向上を図り、児童福祉の増進に寄与することを目的とする。							
事業内容	子供が健康保険証を使用して医療機関等で診療を受けたときの保険診療分に係る自己負担金と、入院時の食事代を助成する。医療費の助成は、現物給付(区が医療機関等に支払う)と、現金給付(区が受給者に支払う)により行う。							
委託の有無	一部委託	委託内容	現物給付に係る医療費の審査支払事務委託、データ入力業務委託、システム管理委託等。					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	助成件数	件	328,000	311,494	314,706	326,778	
		認定児童数	人	19,000	18,211	18,393	18,563	
	成果指標							
	決算額	(単位：千円)			636,676	643,921	663,884	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			15,586	11,228	9,813	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			27,413	26,763	26,443	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			609,264	617,158	637,442	
		総経費			652,263	655,149	673,698	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,779	2,339	1,054			
一般財源(区負担額)			650,484	652,810	672,644			
前回評価から改善した事項	保護者には外国人も多いことから、有効期限が到達したことによる医療証の切換えについて、外国人のための多言語情報紙「TAITO CITY LIFE NEWS」による周知を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	都区間で協定を結び、区内全域において統一的に事業を行っている。子供を安心して生み、健やかに育てられる基盤として、事業の継続が不可欠である。					
	効率性	3	助成情報をシステム管理することにより、事務の効率化を図っている。また、臨時的任用職員がデータ入力しており、職員の超過勤務の抑制が可能となっている。一方で、受診後に償還払いを行う「現金給付(全体の約5%)」については、医療機関が発行する領収書の審査に煩雑な事務が発生している。					
	手段の適切性	3	子育て家庭の経済的負担の軽減を図る一方で、助成対象を健康保険が適用される医療費に限定しており、助成の範囲が適切である。					
	目的達成度	4	助成件数及び助成額が増加傾向にあることから、子供の健やかな育ちを支援する制度として定着している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持	
感染症の流行に大きく左右されるものの、助成件数は、当分の間、緩やかな増加傾向にあると推察される。一方、子供の医療費助成制度は人口減少社会への対策として本来国が行うべきであることから、対象範囲等、国の動向を注視し、方向性については現状を維持する。						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		